令和７年４月分フォローアップにおける先進事例

自治体において、マイナンバーカードの更新需要の増加を見据えた交付・申請受付体制の整備を実施。

○ 窓口の混雑緩和に向けたマイナンバーカード交付体制の整備について

（愛媛県松山市）

概要

▶ **<u>マイナンバーカードや電子証明書の有効期限切れ対象者の増加</u>**を見込み、マイナンバーカードセンターの開設による窓口体制の強化や土日祝日・夜間開庁の拡大など、**<u>円滑な交付・申請受付体制を構築</u>**。

▶ 令和７年４月２８日から**<u>交通の利便性に優れた商業施設にマイナンバーカードセンターを開設</u>**。市として**<u>カード交付専門窓口数は１純増となり、会計年度任用職員を１０名追加採用した</u>**。

▶ 従来、月１回の土曜開庁を実施していたところ、マイナンバーカードセンターの開設により、**<u>第3土曜日の翌日曜日及び年末年始を除く、土曜日や日曜日、祝日も利用できる環境</u>**に。 また、夜間開庁も拡大し、週１回の体制から**<u>毎日午後7時の体制に変更</u>**。

▶ 上記の取り組みの結果、速やかに交付前設定をし、**<u>J-LISからカードが届いてから１週間で交付通知書を発送できている。</u>**
また、申請者がいつでもマイナンバーの交付を受けられるようにするために予約枠を設けていないが、概ね３０分以内に対応できるような**<u>十分な窓口数・人員数を確保できている。</u>**

チラシ

受付の様子